

やまきたまち 議会 だより

議会ののおと

- P2～7 … ここが聞きたい予算審査
- P8～9 … 議員定数削減へ
- P21 … 議会のデジタル化に向けて



議会ホームページは
こちらから

目指せ未来のオリンピック選手！
山北ミニバスケットボールクラブ（女子）（関連記事は裏表紙に）

令和4年度 予算可決

元気なまち やまきた の実現に向けて

令和4年第1回定例会を3月4日から16日まで開催しました。

令和4年度予算総額、一般会計（53億8,700万円）、特別会計、水道事業会計合わせて91億5,002万円の予算案を審議し可決しました。

一般質問は8人の議員が登壇しました。（一般質問は13ページから20ページに掲載）



注目事業



1月臨時会（1月14日）	内 容
令和3年度一般会計補正予算 （第11号）	地方交付税の増額及び国の補正予算に伴い、住民税非課税世帯に対する特別給付金事業等増額を図るもの。（1億1,299万円）
2月臨時会（2月15日）	内 容
課設置条例の一部改正	住民サービスのさらなる充実と、様々な行政課題に向けた行政組織及び機構の見直しを図るもの。 企画政策課→企画総務課 総務防災課→地域防災課
山北町立の小中学校等の設置に関する条例の一部改正	令和4年4月1日に町立三保幼稚園が町立岸幼稚園に統合されることに伴う改正。
地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	みずかみテラスの設置に伴う改正。 整備を進めてきた水上住宅の名称が「みずかみテラス」となった。

地域防災課に地域協働に関することが加わったが具体的に。
 企画政策課長 現在企画政策課で担当している自治会と防災の部分を一本化して、地域防災力が強化できる形で課を設置することにした。

「企画総務課」「地域防災課」の新設

2月臨時会（2月15日）

福祉課長 住民税非課税世帯、家計急変世帯を対象に、1世帯10万円、9・20世帯に給付を予定している。

特別給付金の内容は。

住民税非課税世帯に対する特別給付金事業

1月臨時会（1月14日）



暖かな日差しに見守られ迎えた開園式

学校教育課長 小学校低学年の通学バスで3時の便がある。朝の通園時は、小学校と時間差があるのでタクシー等の手だてを考えている。

三保地区の園児が、岸幼稚園に通園する交通手段は。

三保幼稚園が岸幼稚園に統合

定住対策課長 若者単身世帯、同居者に18歳未満がいる世帯、事実上婚姻関係と同様の事情のある人、婚姻の予約者、こちらを規則で定める。
 若者という定義が法律上位置づけされていないが、概ね40歳以下と考えている。

住宅として入居資格はあるか。また、若者単身とは、何歳までを対象とするのか。

みずかみテラスの設置・管理に関する改正

ここが聞きたい



予算審査

1日目



石田照子予算特別委員会委員長

令和4年度 一般会計・特別会計・水道事業会計

予算総額 **91億5002万円**

令和4年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計の予算について、3月11日、14日の予算特別委員会（石田照子委員長）で審議した。主な質疑は以下の通り。

4期目に向け
まちづくりへの熱き思いは

4月から新たな組織でスタートする。町長の思いは。

町長（仮称）山北スマートICの設置により町は大きく変わる。供用開始までに、インフラ整備や防災体制を構築して、訪れた皆様に喜んでいただける取り組みを進めていく。

SDGsへの取り組みは、町としてしっかり関わるべきです。

町長 太陽光発電を検討している民間事業者から、旧清水診療所の跡地を活用したいとの応募があった。SDGsへの取り組みとして、町も協力していく。



着々と工事が進む川西エリア

地域振興に重要な
インター周辺整備

（仮称）山北スマートIC周辺整備は、供用開始に合わせ、スピード感をもって取り組むべきです。

企画政策課長 まずは優先的に、ゲート空間の演出としてウェルカムサインの設置、造成のり面への植栽道の駅やオアシス公園などの改修に向けた取り組みを進めていく。

また、大野山からの眺望スポットの整備や、旧清水小中学校跡地の活用、道の駅とふれあいビレッジの連絡通路なども順次検討していく。

第6次総合計画の重点内容は。

町長 令和4年度から始める0歳から15歳までの一貫教育・保育や、防災関係を重点内容とした。



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2016年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年持続可能な開発目標」の17の目標のことです。詳しくはwww.sdg.go.jpをご覧ください。

写真：山北スマートIC建設現場の様子。令和4年度から着々と工事が進む川西エリア。



利活用が望まれる旧ビジターセンター

旧ビジターセンターは 次のステップへ

県が5年間支払うとしていた、旧ビジターセンターの負担金の状況は。
年間の維持費もかかり、新たな対策を考えるべきではないか。

環境課長 県負担は終了した。現在は、企画調整事業の土地借り上げ料から支出している。
現状では、利活用は難しく、ふれあいランドも含め検討する。

行政無線がデジタル化 聞き取りやすくなるか

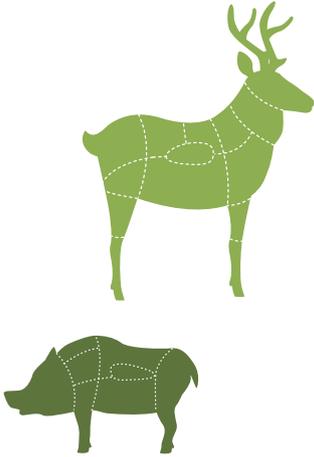
デジタル化に伴い、使用中の戸別受信機は利用できなくなるのか。

総務防災課長 令和4年11月以降も使用可能である。デジタル対応の戸別受信機への買い替えは、令和5年度から助成も含めて実施する計画である。

鳥獣害対策 1歩前進となるか

松田町に完成予定のジビエ食肉処理加工施設の、運用と経費は。

農林課長 施設利用料一頭3千円で、町が2千円補助する。
また、建設費や運営費は足柄上郡5町で分担する。



交通が不便な地域のお出かけをサポート

デマンドタクシー試行運行は、利用者の意見を反映し、より便利に改善を。

企画政策課長 令和3年度利用者の意見は、9割の方に満足いただいた。
来年度は、要望のあった町外運行について検討していく。

D52の軌道延伸計画は

D52延伸に向けた整備計画と、今後の事業展開をどう考えているのか。

都市整備課長 令和4年度は、鉄道公園内の既存遊具を平山のびのび公園等に移設するなど鉄道公園の東側に新たな複合遊具の設置を進めていく。

副町長 ふるさと応援寄附金等を活用し、関係人口増加に向けた取り組みを検討していく。



予算審査2日目

子育てにやさしいサービス 移住・定住に期待

みずかみテラスの募
集スケジュールは。

ブックスタート事業
の新たな取り組みとは。

民間に委託した放課
後児童クラブの状況と、
反響はどうか。

定住対策課長 入居開始は
9月1日からの予定。広報
誌への掲載や、不動産サイ
トなど全国的に情報発信を
して、6月1日から申し込
みを開始する予定で進めて
いく。

生涯学習課長 1回目は6
〜7か月検診時に、2回目
は3歳児検診時に、3回目
は小学校入学時に、リスト
から選んでいただいた好き
な本をプレゼントする。

福祉課長 アンケートで
は、良いという反応が多
かった。他施設とのリモー
ト交流をするなど委託のメ
リットが感じられる。

現在実施されていな
い3歳〜5歳の園児に
主食も提供する完全給
食の実施スケジュール
は。また、使用する食
材は町内産を利用する
べきでは。

福祉課長 7月には始める
予定。米など食材は地産地
消に努めていく。



楽しい給食（こども園）

一人1台パソコン 有効活用されているか

**GIGAスクール構
想の実現の予定は。**

また、一貫教育を進
めるうえでICT機器
の活用は小中学校と連
携が図られているのか。



一人1台パソコンでの授業風景（川村小学校）

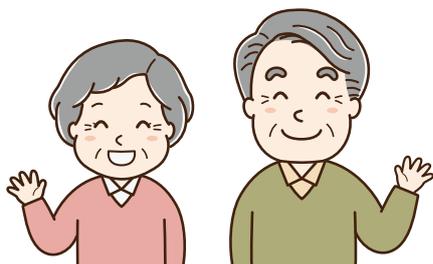
学校教育課長 各校月2回
ICT支援員を配置する予
定である。

一貫教育・保育の基本方
針が示されたため、今後は
更に、小中学校の連携が図
られるものと考ええる。

自力避難できな
い方へ実効性の
ある支援を

災害時は高齢者や障
がい程度にかかわら
ず、すべての方の支援
に繋げていくべきでは。

福祉課長 大規模災害時な
ど、自力で避難できない方
の名簿を作成している。
名簿は、関係機関と情報
共有し、緊急時の早急な救
助につなげていく。



パートナードグが開始する

性的マイノリティの方が広く認知され、暮らしやすくなるよう一層の支援を。

福祉課長 行政の役割は、カミングアウトをしても多様性を認め合うことのできる社会を作っていくことである。
国、県、近隣自治体と連携して啓発に努める。

どうなる旧体育館跡地

現在、駐車場になっている旧体育館跡地だが、建設実施に向けた計画は。
また、その際には、町・県内産の木材を使用するべきでは。

生涯学習課長 資機材が高騰しており、当分の間、好転が見込めないため、令和3年度、4年度とも実施は見送った。
町・県内産木材の使用は前向きに検討する。



駐車場として多くの方に利用されている体育館跡地

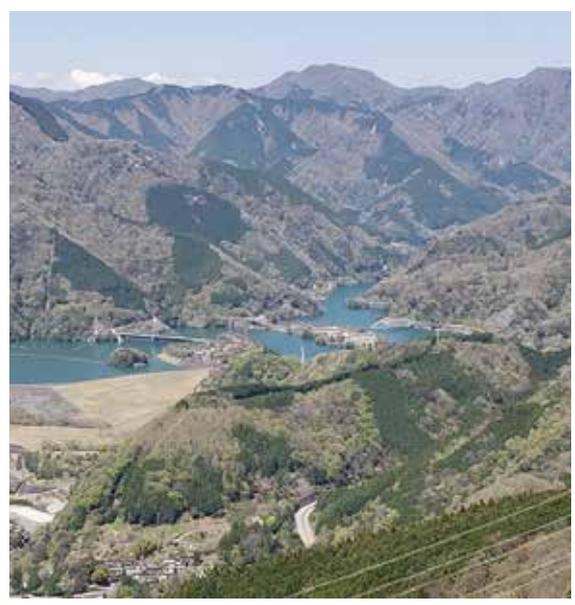
特別会計

下水道事業

下水道事業は、令和6年度から企業会計へ移行するが、準備内容は。
また、単独企業として運営するための経営努力をするべきでは。

上下水道課長 現在、資産整理に取り組んでいる。令和4年から5年で、条例の整備を行う。

副町長 一般会計からの基準外繰入(※)は基本的にできなくなり、下水道料金への影響を危惧している。
※基準外繰入 総務省から毎年、基準が示される一般会計から負担すべき経費が「基準内繰入」で、それ以外の赤字補填分の繰入金が「基準外繰入」という。



神奈川の水がめ 三保ダム

町設置型浄化槽事業

水源環境保全再生事業は令和8年で終了する予定である。
事業運営について県へ働きかけるべきでは。

国民健康保険事業

国保の歳入では、一般会計から多額の繰入金がかかっている。医療費を抑える努力をしていくべきでは。

上下水道課長 県が水源地域の水環境の改善を図る目的で始めた事業であり、県への働きかけが必要であると考えている。
保険健康課長 国保税の検討が必要と考える。健康でいるために、積極的に健診していただくと共に、ジェネリック医薬品を利用するなど、医療費を抑えていただくための通知をしていく。

討論

議員定数2削減を

賛成
多数で

可決

議員定数

山北町議会議員定数

14人から12人へ

山北町議会議員の定数を定める条例の一部改正する条例の制定について

(提案理由)

地方を取り巻く厳しい社会経済状況や本町の人口動向などを踏まえ、更に町民に寄り添う議会を目指し、議会議員の定数を削減するもの

(附則)

次の一般選挙から施行する

「議員の矜持」

清水 明

全国的な状況として、定数削減の声が大きくなっているが、その原因としては地方民主主義の根幹をなす「二元代表民主制」の意義を正當に理解していない事にある。
長らく中央集権と結びついた「強い首長」の前で議会は脇役であり、ただ存在するだけで、役に立っていないというマイナスイメージが作られてしまっている。
私たち議会は「議会の見える化、見せる化」の取り組みを進め、議会の重要性を理解してもらうように活動を続けていく。その活動の評価をまた受けていない。議会・議員の活動はどうか。
評価を受けた後、改めて定数について自分たちのこととして町民のみなさんまをまじえて議論すべきだと考える。

「議会が自ら身を切る」

和田成功

民主主義、住民自治の根幹である議会がしっかりと機能する事、広く民意が反映される事は町民の権利であり、その権利が最大限発揮できる議会の体制を作っていく事が重要である。
定数について、議会が自ら身を切り、変革をしていく姿勢を示す事、また、それ以上に議員一人一人がより多くのより多様な町民意見を集約し、その統合に努める事で、議会の弱体化を阻止する事ができ、議会変革に努めていく事、この様な取組こそが、町民からの負託に応えるものであり、議会自らが率先して傷みを堪え、定数削減を実行する事の意義は大きい。
定数は、町を取り巻く社会状況の変化や推移等を把握し、議会のあり方も含めた検討を継続していく事も重要である。

「しっかりとした議論を」

堀口恵一

定数削減は議会の弱体化を意味し、民意反映を弱めることに他ならないと考える。
情報化、ロボット化が進む現代、益々ソフトが重要な時代である。
議会は町の意思決定機関でありソフトの頂点になる訳で、しっかりとした情報収集と議論が必要であり、議論が出来る議員の充実は必要なことである。
また、国の一般会計予算は、10年連続で過去最大を更新しており、山北町の予算も大きくなり続けている。
山北町の面積が極端に広いと言う特殊事情(小田原市の2倍、南足柄市の3倍)もある。山北町は大きく分けて清水三保地区エリアと山北岸向原地区エリアの2つに生活圏が別れており、2町分の議論があっても不思議ではない。よって、原案には反対である。

「12名で議会の機能は可能」

瀬戸恵津子

人口減少が進む中、高齢化による医療費の増額や公共インフラの維持管理費の増大、災害への備え、教育・子育て支援等への財源の充実については、町の将来像を描くとき非常に、厳しい現実がある。

また、首長のおもいでだけで町の将来像は決められるはずはなく、議会の議論多数による決定、町政を監視するという機能を実践し町民の多様な民意をくみ取り代弁していく事こそ議員の使命だ。

議会の見える化・見せる化、議員の資質向上、議会活動・委員会活動の活性化これらを推進し、町民福祉の向上、持続可能な町づくりに取り組むことは、定数を12名に改正しても可能である。



「削減の前に議会力強化を」

富田陽子

従来からの課題である少子高齢化、人口減少、町税減収、耕作放棄地、鳥獣害が解決されない状況に加え、新たにコロナ、激甚災害など課題は増える一方で、予算規模も年々増加している。

自治会等の自治の機能も低下するなど減った故の問題は増え、行政の役割は増える一方だ。

この現状に対し、議員自ら人数を減らし果たして町民に寄り添う議会になるのか。町民の声を反映できているのか。

一昨年のアンケートの結果をみれば、定数削減の前にやるべきことはたくさんある。

議員が議員を選ぶことはできない。定数を減らし少数精鋭を目指すならば、選挙の度にどんなメンバーになっても議会力が衰え無いような体制づくりが最優先ではないか。

「町民の幸せを願って…」

石田照子

当議会は、ここ数年、議会改革に力を注ぎ、研修を重ねるとともに、町民との対話の機会を増やし、今までは違った議会の形を模索し、議会力の向上に努めてきた。

私たちは、町民の幸せを願って福祉の向上を図るべく活動をしている。その基本を忘れることなく町民の負託にこたえることが、私たちに、そして議会に課せられた責務であり、議会力の低下を招く要因は、数の問題ではない。

近年の社会情勢、町の状況、町民から漏れ聞こえる声等総合的に判断し、議員定数削減を決断すべき時が来ていると思ふ条例改正に賛成する。

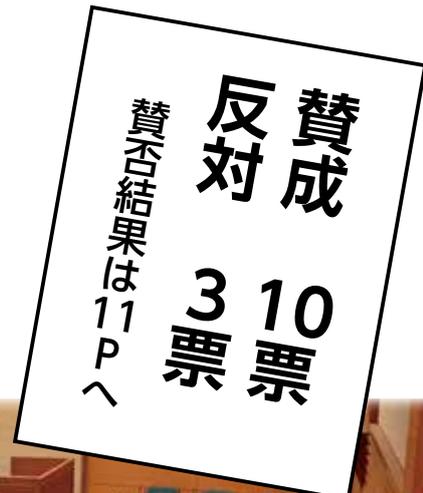


「住民の意見を尊重するために」

瀬戸伸二

議員は、住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成している。議員定数について町民から意見聴取を行うと、多くの町民は「定数は減らした方が良い」と解答する。町民の声を尊重する上で、定数の削減は止むを得ないと考える。

今後、デジタルを活用した議会運営を行うことで、削減による議員活動量の低下を補うことができる。私は、住民の声を考慮し2名削減に賛成する。



議の結果

第1回 臨時会 (1月14日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度一般会計補正予算(第11号) ・主に住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業による増額で、歳入歳出それぞれ1億1299万円を増額し、予算の総額を64億1731万円とする	可決		

第2回 臨時会 (2月15日)

件名	審議結果	件名	審議結果
課設置条例の一部を改正する条例 ・住民サービスの充実と様々な行政課題解決に向けた行政組織及び機構の見直しに伴い、改正するもの「企画政策課」を「企画総務課」に、「総務防災課」を「地域防災課」に改めるもの	可決	町営住宅条例の一部を改正する条例 ・町営水上住宅の用途廃止に伴い、改正するもの	可決
地域優良賃貸住宅整備基金に関する条例の一部を改正する条例 ・みずかみテラスの設置に伴い、改正するもの	可決	地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・みずかみテラスの設置に伴い、改正するもの	可決
町立の小中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例 ・令和4年4月1日に三保幼稚園が岸幼稚園に統合されることに伴い、改正するもの	可決		

第1回 定例会 (3月4日～16日)

件名	審議結果	件名	審議結果
空家等の適正管理に関する条例 ・空家等対策の推進に関する特別措置法等に定めるもののほか、空家等の適切な管理の促進を図るため、制定するもの	可決	砂利採取税条例を廃止する条例 ・令和4年3月31日限りで砂利採取税を廃止することに伴い、廃止するもの	可決
工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例 ・工場立地法の一部改正により、県が有する町村区域における緑地面積率の準則の制定権が町に移譲されたことに伴い、必要な事項を定めるため、制定するもの	可決	令和3年度一般会計補正予算(第12号) ・主に歳入は国・県補助負担金の確定見込み等による変更で、歳出は各事業費の執行見込みによる減額で、歳入歳出それぞれ6997万円を増額し、予算の総額を64億8728万円とする	可決
附属機関に関する条例の一部を改正する条例 ・空家等の適切な管理の促進を図ることを目的として、山北町空家等対策協議会を町附属機関とするため、改正するもの	可決	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・主に確定見込み等による県支出金、保険給付費の減額で、歳入歳出それぞれ5198万円を減額し、予算の総額を14億7110万円とする	可決
職員定数条例の一部を改正する条例 ・令和4年4月1日から町の組織機構の見直しを実施されるにあたり、所要の改正を行う必要が生じたため、改正するもの	可決	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ・主に後期高齢者医療広域連合納付金の増で、歳入歳出それぞれ750万円を増額し、予算の総額を1億9408万円とする	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ・国家公務員について非常勤職員の育児休業等の所得要件の緩和等が措置されることに伴い、地方公務員においても同様の措置をとる必要が生じたため、改正するもの	可決	令和3年度町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第2号) ・主に浄化槽設置事業の減で、歳入歳出それぞれ2209万円を減額し、予算の総額を2962万円とする	可決
特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例 ・課設置条例の一部改正に伴い、改正するもの	可決	令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号) ・主に確定見込み等による保険給付費の増で、歳入歳出それぞれ200万円を増額し、予算の総額を12億9324万円とする	可決
認定子ども園条例の一部を改正する条例 ・教育認定子どもと保育認定子どものニーズの変化に対応し、利用実態に基づいた定員設定とするため、改正するもの	可決	令和3年度商品券特別会計補正予算(第4号) ・プレミアム付き商品券の確定見込みによる減で、歳入歳出それぞれ146万円を減額し、予算の総額を1億5051万円とする	可決
国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・地方税法施行令の改正に伴い、改正するもの	可決	令和4年度一般会計予算 ・予算の総額を53億8700万円とする	可決 (賛成多数)
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 ・消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、改正するもの	可決	令和4年度国民健康保険事業特別会計予算 ・予算の総額を14億2772万円とする	可決

議案等審

件名	審議結果	件名	審議結果
令和4年度後期高齢者医療特別会計予算 ・予算の総額を2億383万円とする	可決	町道路線の認定(町道275号北原線) ・県道74号(小田原山北)から町道58号(堀込上野下線)までの路線を町道として維持管理する必要が生じたため、認定するもの	可決
令和4年度下水道事業特別会計予算 ・予算の総額を3億9929万円とする	可決	町道路線の認定(町道276号原耕地14号線) ・新規路線開設に伴い、認定するもの	可決
令和4年度町設置型浄化槽事業特別会計予算 ・予算の総額を5174万円とする	可決	副町長の選任 ・副町長の任期満了に伴い、選任するもの「山崎佐俊」氏	可決
令和4年度山北財産区特別会計予算 ・予算の総額を641万円とする	可決	固定資産評価審査委員会委員の選任 ・固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、選任するもの「大野博世」氏	可決
令和4年度共和財産区特別会計予算 ・予算の総額を7844万円とする	可決	教育委員会委員の任命 ・教育委員会委員の任期満了に伴い、任命するもの「今村敏雄」氏	可決
令和4年度三保財産区特別会計予算 ・予算の総額を583万円とする	可決	議会委員会条例の一部を改正する条例 ・課設置条例の一部改正等に伴い、改正するもの	
令和4年度介護保険事業特別会計予算 ・予算の総額を12億8877万円とする	可決	議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例 ・地方を取り巻く厳しい社会経済状況や本町の人口動向などを踏まえ、更に町民に寄り添う議会を目指し、議会議員の定数を削減するもの	可決 (賛成多数)
令和4年度商品券特別会計予算 ・予算の総額を741万円とする	可決	南足柄市山北町開成町一部事務組合議会議員の選挙 ・南足柄市、山北町、開成町で構成する組合議会の議員の任期満了に伴い、町選出の組合議会議員を選挙するもの	指名推選
令和4年度水道事業会計予算 ・予算の総額を2億9359万円とする	可決	令和4年度土地開発公社事業計画及び予算 ・つぶらの事業用地や開発中土地の利活用の調査研究及び用地の管理、資産活用事業など 収益的収入及び支出予定額：2375万円 資本的収入及び支出予定額：1億6696万円	報告のみ

☆賛成・反対があった議案(第1回定例会)

議案件名	議員名(議席順)												
	瀬戸恵津子	山崎政司	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	府川輝夫	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
令和4年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○

※○は賛成、●は反対を表しています。児玉洋一議長は、採決に加わりません。

反対 令和4年度一般会計当初予算：賛成反対討論 賛成

2、職員数が年々減少し、来年度も減少している。ワクチン接種・災害・熊出没時等での予定外、時間外の対応の多さに職員の負担増を危惧する。早急に原因を分析し、増員を求める。

延伸するならば、D52を活用したまちづくりのビジョンが見えるべきだ。鉄道ファンがキョウキョウする仕掛けやグッズ、森林鉄道など、民間も出資したくなる将来的展開があるビジョンを求める。

未来ある延伸整備を
以下2点で疑問が残るため反対する。
1、D52延伸に向けての公園整備は、一般財源ではなく、補助金や民間財源を活用し、一般財源は町民の福祉向上へ最優先に使うべきである。さらに不安材料として、①コロナ禍のイベント開催・経済効果 ②不安定な世界情勢下での工事の見直し ③4期目の出馬表明では、D52の文字はなく、延伸が最終目標になっていないか。

富田陽子

将来を担う子どもたちに一貫教育を
歳入では町税に僅かですが増収が見られ、歳出抑制を図りながら財源配分の工夫により「みんなで作る魅力あふれる元気なまちやまきた」を実現する予算編成となっている。
定住対策事業では、東山北1000計画に基づくみずかみテラスが8月に完成予定である。
また、(仮称)山北スマートICの供用開始が延期となるが、前向きにとらえて予算を計上されている。
さらに役場の課の見直しにより、将来を担う子どもたちのため、乳幼児期から中学校卒業までの一貫した教育・保育を進めるために「こども教育課」を新設し、希望の持てる予算編成となっていることを評価し、原案どおり当初予算に賛成する。

遠藤和秀

賛成

空家等の適正な管理の推進へ

新規条例審査

<この条例のポイントは?>

- **法定協議会を設置** 空家対策はケースによってかなり込み入った状況になるので、法律の専門家また不動産の専門家等で構成する法定協議会を設置して、意見を聞きながら進めていくもの。
- **安全代行措置の規定** 特定空家等を解消するための対策
- **町が行う緊急措置の規定** 個人の財産を侵害しない軽微なものについて町が緊急で措置を行うものを規定するもの。

〔審査での主な質疑応答〕

軽微な緊急措置に関しては特定空家に認定しなくても、町として措置が必要だと判断したらできるのか。

環境課長 緊急を要するもので軽微なもの、本来、所有者がやるべきだが、町が緊急で代行できる。費用等は追跡調査をしながら、その所有者や管理者等に請求をしていく。

専門的な知見が必要だが、法定協議会のメンバーは。

環境課長 町長、大学の教授、弁護士、司法書士、宅地建物取引士、建築士に加えて消防関係又は警察等を考えている。

本会議に上程された「山北町空家等の適正管理に関する条例の制定」と「山北町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定」は総務環境常任委員会に付託され、委員会にて条例審査を行い、本会議において全員賛成で可決した。

~この条例のポイント~

地域の環境を踏まえた町独自の緑化率が可能に

- **第一種区域** 住居系や商業系 緑地面積率 25%以上 環境施設面積率 30%以上
- **第二種区域** 工業系地域 緑地面積率 15%以上 環境施設面積率 20%以上

〈審査での主な質疑応答〉

この条例が対象となる施設は町内にどれくらいあるのか。

商工観光課長 町内に6事業者あり、岸地区の工業地域、平山の工業団地エリア、諸瀬工業団地の中の事業者も含まれる。



平山地区の工業団地

問 災害に強い森林整備を

答 森林整備に積極的に取り組んでいく



和田 成功 議員

森林は、土砂災害防止機能も含めた多様な機能を有することから、従来から「緑の社会資本」として知られているが、当町においても近年の豪雨災害に象徴されるような山地災害が多発している。

早急に森林の土砂災害防止機能を高度に発揮できるようにすることが、山間地域の減災に寄与していくために必要であると改めて認識している。

当町として森林整備におけるビジョンを明確に示し、今後の森林づくりに反映させる必要があると考え質問する。

問 当町として中長期的なビジョンを明確に示し、森林整備に向けて積極的に取り組む必要があると思うが。

答 県の「かながわ森林再生50年構想」と整合を図り、10年間の計画期間とする山北町森林整備計画により、森林整備の基本方針を定め、森林区分や区域の設定、森林整備の考え方や目標を明確に示し、今後の森林整備に向けて積極的に取り組んでいく。



かながわ森林塾を卒業し活躍する担い手

問 林業の担い手育成の進捗状況は。

答 神奈川県では「かながわ森林塾」事業を実施し、山北町民の方は4名就業している。

また、神奈川県森林組合連合会では、「緑の雇用」事業を実施している。これらの事業と広報・啓発活動や情報共有など連携を図り、活用を促進していく。



ナラ枯れ被害木を伐採する森林組合員（浅間山）

問 森林環境譲与税の使途について成果は。また、今後の計画は。

答 林道改良工事や間伐材搬出奨励金、ナラ枯れ被害木伐採工事等の費用に充当した。

令和4年度、新規に川村小学校の児童を対象にした森林体験学習などを計画している。

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 町長の今後の町に対する熱意を問う

答 4期目に出馬し元気なやまきたに向けて全力で取り組む



遠藤 和秀 議員

町長は、町民からの負託を受け町政の最高責任者として、3期目が終わろうとしている。
 東山北1000計画に基づく大型商業施設オープン・大企業の誘致・町営住宅の建設や町民福祉の向上等は町長の成果と思う。
 少子高齢化による急激な人口減少は、大きな課題となり行政運営に厳しさを増している。
 そこで質問する。

問 山北町第5次総合計画で掲げた「みんなでつくる 魅力あふれる元気なまち やまきた」だが、町長の自己評価はいかがか。
 令和4年7月に町長選挙を控え、4期目に対する町長の考えは。

答 平成22年7月に町長に就任し、「元気な山北のまちづくり」に全力で取り組んできた。

私の自己評価は7割。実施が遅れている事業も一部あるが、取り残しのないよう全力で取り組む。

第6次総合計画は、本町の将来のあるべき姿に向けた行政運営の指針として、策定していきたいと考えている。



大型商業施設



向原保育園

問 急激に進む人口減少と少子高齢化に対する今後の考えは。

答 転出者が転入者を上回る社会減少と、自然減少の状況が続いている。

少子化の歯止め子育て支援を充実させ、幼稚園・保育園・こども園の無償による完全給食の実施や放課後児童クラブの利用料の見直しを行う。また、高齢者が安心して暮せる事業を図っていききたいと考えている。

問 4期目に向けた意気込み、新規事業計画等の考えは。

答 開通後の山北スマートIC周辺土地利用をはじめとした地域振興策や、本町の豊かな森林を未来の子どもたちに伝えていく取り組みを進めることが、4期目における私の使命である。

脱炭素社会に向けた再生可能エネルギーの導入について積極的に推進していく。



山北の森林風景

問 プラスチックごみの減量化対策を問う
答 3Rの徹底を前向きに進めたい



山崎 政司 議員

プラスチックは自然分解されないことから河川や海などに放出されると滞りつづけることとなる。当町においても、初夏から秋にかけて観光客が河川でバーベキューなどで楽しんでいるが、プラスチックが放置されている状況が散見されている。

放置されたものが、河川を流れ海洋汚染の一因となっているため、不法投棄・減量化対策を進める必要があることから質問する。



可燃ごみにプラごみが6.8%程度含まれていました

今後3R(※)を広報等活用し普及啓発に努めていく。

令和2年度実績は、約110トンと増加傾向であり、一部のエリアで「ごみ質調査」を実施したところ、可燃ごみの中に混入していたプラごみは6.8%で上郡1市5町の平均値4.6%を上回っていることが判明している。

問 プラごみの減量化の現状と対策は。

答 現在は、ペットボトル・食品トレー・プラマークの3種類に分別し、資源ごみとして回収している。



楽しんだら持ち帰りましょう

令和4年2月に県西統一で「プラごみゼロ共同宣言」を行い、クリーン活動の広域的な取り組みを展開することとした。

答 河川管理者が対応すべき事案であるため、県や警察にも通報し連携して対応している。

また、河川を流れ海の環境や生態系に影響を与える海洋プラスチック問題は、町としても早急に取り組む課題と認識している。

問 河川敷におけるプラごみの不法投棄対策は。

答 平成19年に地球温暖化防止計画「やまきたアクション」を策定し取り組んでいる。

今後、町民・事業者との協働による「地球温暖化防止地域計画」の策定を目指したい。

問 地球温暖化対策に対する町の取り組みは。



山崎政司議員におかれましては、令和4年4月8日に急逝されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 (仮称)山北スマートIC整備計画の見直しを
答 接続ルート東、西、北から選定していく



堀口 恵一 議員

(仮称) 山北スマートICは当初、道志村を通る小田原甲府線構想など甲府へ抜ける道との関連付けで、地域の発展に貢献するものとされてきた。

しかし現在、インター北の丹沢湖から町外へ抜ける道はおおよそ①山北藤野線(北)、②秦野峠林道(東)、③水の木幹線林道(西)の3つがあるが全て通行止めとなっている。

丹沢湖から町外へ抜ける道がない状態でのインター開通は袋小路を作り出しゴミ問題や駐車場不足、交通渋滞などで期待する効果は得られず、トータルで見るとマイナスになるのではないかと危惧する。

そこで質問する。



新東名(仮称)山北スマートICと小田原甲府ルートの関係を示す地図

問 小田原甲府線構想は平成20年まで研究され、その後動きがないが、現在一般的に使われている小田原から甲府への道路の充実に比べ優位性がなくなったためではないのか。

答 優位性がなくなったためではなく、道志村など山梨県側自治体との温度差があり、だんだん下火になっていったのだと認識している。

問 令和4年2月に河口湖から甲府に抜ける「新たな御坂トンネル」(現新御坂トンネルの120m下方に計画)を山梨県知事が国に要望した。

現在一般的に使われている小田原から甲府への道路は益々便利になる状況である。

その道路のショートカットになる③(西の道)は、山中湖との観光連携などのランドデザインが描けるので優先的に検討してはどうか。

答 丹沢湖から東、西、北の3方向の中で、町域を越える幹線道路の必要性や効果などを整理し、優先的に検討を進めるルートを判断する準備を進めている。

問 民有地活用を積極的に
答 所有者に意向調査を行い解決を図る



瀬戸 伸二 議員

(仮称) 山北スマートICの開通後の魅力あるまちづくりとして、民有地の活用が不可欠ではなからうかと考える。
 行政はむやみに民有地を干渉することはできないと承知しているが、高齢化が進む当町において、地権者の意思を確認しつつ民有地活用を検討し、町の活性化を図る必要があると考え質問する。



スマートIC工事現場

問 (仮称) 山北スマートIC周辺土地利用について、清水あり方研究会(※)では提案書を提出したが、町としての取り扱いはどうなっているのか。

答 清水あり方研究会の提案書には「ふれあいビレッジ」「道の駅」及び周辺の農地を活用し、体験交流拠点施設を整備する考えなどが示されている。
 今後も意見交換などを行い、スマートIC周辺土地利用を検討していきたい。



道の駅やまぎた周辺風景

問 現在、河内川沿い農地には遊休地が多くみられるが、「道の駅」「ふれあいビレッジ」を含めた有効活用を考えてはどうか。

答 農地法などの法規制の課題もあるが、清水あり方研究会や土地所有者などの意見を伺い、河内川沿い農地の活用について検討していく。

問 町内で増えている耕作放棄地や雑木林化している山林の地権者と、活用プランの提案等意見交換をしていくべきだと考えるがどうか。

答 農業委員の現地調査により、個々の問題等を解決し耕作放棄地の解消を図っている。
 雑木林化された山林については、所有者と十分な意見交換を行い、森林環境の保全・再生を推進していく。

(※) 清水あり方研究会とは
 地元の有志を中心に、清水地域の地域振興を考える組織。

問 (仮称)山北スマートIC周辺 土地利用構想概略図の進捗は

答 今後地域と連携し土地利用を進めていく



瀬戸 恵津子 議員

問 (仮称) 山北スマートIC周辺土地利用構想概略図に地域の提案等をどのように反映し、今後の土地利用構想の実現に向けてどのように進めるのか質問する。

答 歩行者の安全のため、清水やまなみ橋へ歩道等の対策をとるべきでは。

答 清水やまなみ橋は、平成26年2月28日に完成したが、建設時はスマートICが設置されない想定であったため、歩道がない橋となった。構造上、歩道の設置は困難なため、既存の橋を活用するなど地元と調整し検討する。

問 (仮称) 山北スマートIC周辺土地利用は、法規制を精査し検討していくと過去に答弁されているが状況は。

答 土地利用の観点で大きな課題となる事案は、「山砂利採取地の跡地活用」と「旧清水小・中学校の跡地活用」がある。

透間地区の山砂利採取地の跡地活用の検討については民有地であり、現在事業者が保安林代替施設整備計画やその後の平地化事業計画の見直しを国・県と協議しながら進めている段階である。

町は具体的な検討はしていないが、引き続き事業者と連携し進捗状況を注視していく。

問 2つの計画を事業者や地権者に進めてもらうべきではないのか。

答 保安林代替施設整備計画は保安林(※)を伐採して砂利を採っているため、保安林の代わりとなるものを造る計画で国へ提出するもの。

平地化事業計画も保安林代替施設整備計画とほぼ同じ内容になると思う。

これにより土地の形状がわかるため、将来的には土地利用の検討や課税することが考えられる。そのため町は、事業者等の取り組み状況について注視していく。

(※) 保安林とは
降水を貯めゆつくりと流れ出る機能や防災、生活環境の保全、おいしい水を供給する目的のため指定されている森林。



透間の砂利採取場

問 町の人口増加策を問う

答 各団体と連携しながら定住対策を進める



清水 明 議員

町の努力により流入人口は増加しているにもかかわらず、人口減少に歯止めがかからない。改めて町の人口増加策の取り組みについて質問する。

問 県立山北高校が3年間取り組んできた「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）」（※）の研究発表会では、山北町の素晴らしさを地域住民と共有し、住み良い町であることを発信することにより町の活性化を図り、人口増につなげる熱意を感じた。町はそれらの提言をどのように評価し、対応するのか。

答 発表会の参加者から多くの肯定的な意見、感想をもらった。今後も町と県教育委員会との協定を継続しながら山北高校との連携を図っていくとともに、町行政が中核となり、関係機関、団体等の施策に生かしていきたい。そして、豊かな人間力を身につけた若い人材が、将来町に戻り、力を発揮することが人口問題の解決につながると期待している。

問 子育て世代を町に呼び込むために、遊休農地と、農業志向の流入者とのマッチングを人口増加策として進めるのはどうか。

答 家庭菜園や兼業で農業をやりたいなど、小規模な農地についての問い合わせが増えてきている。関係課から提供された情報をもとに遊休農地の取得や町内の貸農園、町の助成制度等について説明するなど、希望者に対して、庁内で連携を図り、しっかりとした対応をとるよう指示している。



順番待ちの町の貸農園（日向地区）

（※）「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）」とは
社会を地域から分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等との協働により地域課題等の解決等の探求的な学びを実現する文部科学省の取り組み。

問 「木育」の推進を

答 教育・保育の場で積極的に取り入れていく



富田 陽子 議員

「木育」とは、木について理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解の基礎を育むものである。

「木育」を取り入れることにより、木は資源であり、木・山がたくさんあるわが町は、資源が豊富で豊かだという価値観を子どもたちが身に付けることに町の未来があると考えます。

当町のみならず世界の環境保全や、観光などの課題解決、持続可能な社会づくりの担い手を育てることに繋がると考え、問う。



しいたけの菌打ちを楽しむ園児たち。



粗い板に、木の輪切りや木っ端を並べて、その間にボールを転がす。木を使った子どもの遊びは無限大だ。

問 町として「木育」についてどう考えているか。

答 農林業という視点からも木育を幼稚園、小学校で実施することで将来の林業や担い手につながるのではあれば、町として重要であると考えます。

木育は、生活、環境、言語、表現の中に関連づけながら環境教育という大枠の中で推進したい。

問 教育・保育現場での木育の取り組み状況は。

答 幼児教育・保育の現場では、ボランティアの協力で、間伐材を活用し丸太の輪切りなどの遊び道具を提供している。

学校教育では、令和4年度から新たに2年生、5年生を対象に森林体験学習を行う予定である。

問 木を生活に取り入れ身近に感じることも重要。教室の木質化、木の食器や遊具を取り入れては。

答 コンクリートより木がいい。木質化は状況を見ながら取り入れたい。食器や遊具も総合的に判断して取り入れていきたい。

問 町民が森林活動や、木育の取り組みを行えるように応援する制度を。

答 令和4年度から森林環境譲与税を活用し、森林ボランティア団体を対象に活動経費の一部を助成していく。木育に対する活動にも調整していく。

》 研修会レポート①

住民から信頼される議会とは

開催日： 令和3年11月8日（月）
 場 所： 山北町役場 401 会議室
 講 師： 中 村 健 氏
 （早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）



時代の変化とともに、議会に求められる役割は大きく変わってきています。議会では、議会改革の取り組みを進めていますが、研修で、議会はこういうものだという思い込みがあったことを認識させられ、議会改革ではなく議会変革に取り組む必要があると感じた研修でした。

また、これからは議会力の差で地域に差が生まれるとの講義を受け、将来を見据えた議論ができる議会の体制づくりに積極的に取り組んでいきます。

- ・ 議会は地域課題を解決し、地域の未来を創造する権限を有している
- ・ 議会の視点が変われば予算の付け方、計画の作り方が変わる（執行部が変わる）
- ・ 執行部が変われば地域が変わる

地域を創るのは議会です！

「議会のICT活用とデジタル化」

》 研修会レポート②



開催日： 令和4年1月21日（金）
 場 所： 山北町役場 401 会議室
 講 師： 長内 紳悟 氏
 （早稲田大学マニフェスト研究所）

議会では、「おしゃべりカフェ」など町民との対話を通じて、民意の吸収に努めております。

また、議会インターネット配信、タブレット導入、リモート会議など調査研究に取り組んでおります。

研修で学んだ、「対話は傾聴から」を念頭に今後も民意の吸収を積極的に進めながら、議会力強化に努めて参ります。

議会の ICT 化には、議員の意識改革や、議会のルールの見直しなど多くの課題がありますが、ICT 活用に取り組んでいきます。

町議会 YouTube チャンネル 開設しました

様々な情報発信をして
 いきますので、チャンネル
 登録をお願いします



やまきた町議会 おしゃべり Cafe

議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的におしゃべりCafeを開催しています。

コロナ禍でやむを得ず中止が続いていますが、今後ともさまざまな場所で開催し、より多くの方と意見交換をしていきます。



11/20 小田原百貨店

- ◆ 静岡から移住してきたが、移住当初は近くに何もなくて不便だったが、商業施設ができ今は何も不便なく生活できている。
- ◆ 役場は民間の経験者の若手をもっと採用した方が良い。
- ◆ 登下校の見守りをしっかりやるべきだ。
- ◆ クマが騒がれている。役場は鈴を世帯に1個提供する考えはないか。

12/20 山北駅前 Cafe NICO

- ◆ R246の渋滞は何とかならないか。常に渋滞していてまいっている。
- ◆ 高齢化が進む当町において、民生委員をもっと増やすべき。
- ◆ 松田町の冷暖房のあるコミュニティ施設のような待合室が欲しい。

おしゃべりCafeは 毎月20日開催！

町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。

気軽にお立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日時：5月20日(金) 13:30~15:30
場所：小田原百貨店山北店
(イトインコーナー付近)

日時：6月20日(月) 13:30~15:30
場所：山北駅前 Cafe NICO広場
(芝生スペース付近)



※当日の様子など記載した
おしゃべりCafe通信は
ホームページでご覧いただけます。



No.208議会のおと 広報モニターアンケート

15名の議会広報モニターの皆さまから、2年間にわたりさまざまなご意見をいただきました。2年間の活動を振り返っての声をいただきましたのでご紹介します。

- ◆ おしゃべり Cafe は続けてください。
- ◆ 広報紙面の事ではなく、紙面以外のことも突っ込みたくなるほど、町の出来事を考える2年間でした。
- ◆ モニターと分科会による意見交換会が一度も実施されなかったことが残念である。
- ◆ 2年間お世話になりました。アンケートに回答させて頂き、正直どこがどのように変化したのか知りたいと思います。
- ◆ モニターになったことで、今まで以上に広報や議会だよりを詳しく読んで勉強になりました。
- ◆ 議会でどんな話し合いがされているか、知らない町民がほとんどなのは。
- ◆ 毎年所信表明の声を聞かせていただける場を設けて欲しい。
- ◆ 次年度から広報モニターよりも一歩進んで、議会だよりをもとに、市政の中身を話し合う場ができれば画期的な地域によるオンブズマン育成というか、主権者育成になるのでは。
- ◆ おしゃべり Cafe だけでなく、その他の議員活動も紹介していただきたい。



※全集計結果はホームページに掲載しています。



全感想はこちらから

まかせて 山高生の声

山北高校の生徒51名の皆さんに

「議会のおと207号」を読んだ意見、感想を寄せていただきましたので一部を紹介します。

なお、いただいたすべてのご意見等はHPに掲載します。

- ★ 少しかたいような気がするのですが、若者にも見て欲しいのであればもっとポップにして、わかりやすく、見やすくして欲しい。
- ★ 町民が1番知りたいと思っている予算案などのお金関係の記事が見やすかったので良いと思いました。
- ★ デマンドタクシーが、交通が不便な地域や、自動車を持っていない人にとって助けになると思った。すごい案だと思った。
- ★ 最後のページの「サッカーを通じた子どもの成長」について興味を持ちました。
- ★ P10議員が活動しやすい環境整備を図る。女性の議員が少ないと思うので、女性議員を増やすために、とても素晴らしいことだと思った。
- ★ SDGsについてもっと詳しく記載した方が良かった。質問に対してほしいの回答が検討しているばかりなので言葉を換えた方がいいのでは思った。
- ★ 「STOP 地球温暖化」は自分に何ができるか、わからなかった。自分なりに調べて実践していきたいと思った。

活きいきひろば

友情・ほほえみ・

フェアプレーの精神を大切に

山北ミニバスケットボールクラブ（女子）

監督 辻 和雄さん



山北ミニバスケットボールクラブ（女子）の創立は、1985年9月です。今年で37年目を迎えます。

部員は基本、小学校1年生から6年生まで（幼稚園・保育園・こども園の年長も可）でミニバスの友情・ほほえみ・フェアプレーの精神にのっとり、みんな仲良く、楽しく元気に活動しています。

練習は、火曜日・木曜日が18時から20時、土曜日が9時から12時いずれも川村小学校体育館で汗を流しています。現在の部員は、5年生5人、4年生2人、3年生3人、1年生1人合計で11人と少なく仲間を増やすことに大変苦慮しています。

今までに大勢の部員が山北ミニバスを卒業してきましたが、実は皆さんご存知のロンドンオリンピック、日本マラソン女子代表の尾崎好美さんもその一人です。尾崎選手は小学校低学年からミニバスケットボールを始め、幼少期からの運動がオリンピックにつながる脚力をつけました。これは本人から聞いた話なので間違いありません。

これからお子さんに何かしらの運動をさせたいとお考えの保護者の方、一度練習を見学してみてください。お待ちしております。



編集後記

新緑の候、活動的な季節となり、天気の良い日はあちらこちらに出かけたいところですね。しかし、ニュースを見てみるとコロナ禍であつたり、ロシアによるウクライナ侵攻も激しさを増し、世界情勢は緊迫化しています。特に情報が遮断された場合、または誤った情報が配信された場合はそこに住む住民は正確な情報を受信することができません。

議会だよりは町民視点の一番身近な情報源です。町民の皆様には直接関係してくるテーマも多く、一緒に考えて欲しいテーマもあります。今後も見やすく、分かりやすく、正確な情報発信にこころがけ、町のいろいろな課題解決やビジョン創成に結びつけるために取り組んでまいります。（堀口恵一）

議会の傍聴においでください

第2回定例会(予定)

6月10日(金)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ
議会事務局

75-3653

広報分科会
会長 清水 明
副会長 堀口 恵一
委員 山崎 政司
和田 成功
府川 輝夫
石田 照子

府川輝夫議員から
一身上の都合によ
り辞職願が提出さ
れ、令和4年3月
31日付けで辞職を
許可しました。